

地域防災活動の重要性が高まる中、県と県建築

県と建築3団体

(県建築協会
県電気工業会
県管工事業協会)

九州初 緊急体制を確立

協会(上山一吉会長)、県電気工業会(中島博夫理事長)、県管工事業協会(肥後勝司会長)は3月31日、「災害時ににおける住宅の応急修理に関する協定」を締結した。九州では初、全国では東京、愛知、和歌山などに続く取り組みとなる。

同協定は、災害によって半壊または半壊等の被害を受けた住宅に対し、県と各団体が連携・協力を図り、速やかに応急修理等の対策を講じるもの(災害救助法第23条第1項)。被災者がより日常的な生活を営めるように、県から要請を受けた団体は速やかに応急修理に努めなければならない。

同日、県庁で行われた調印式には、各団体の代表者のほか、県から安藤恒次土木建築技監(住宅課長)が出席。調印後、それぞれの手で協定書が交わされると、安藤技監は「危機管理は非常に大切なこと。力を合わせて取り組んでいきたい」と述べ、互いに手を取り合った。

協定締結にあたって、上山会長は「体制が明文化されたことで、会員の

災害時の住宅応急修理に関する協定締結



協定締結後、固い握手を交わす関係者。鹿児島市の県庁で

社会貢献への意識もより高まる。地域一体となって取り組んでいきたい」と前向きに語った。

災害協定については、今年1月の県と県建設業協会を皮切りに、各土木事務所、支部単位等でも結ばれている。

協定締結の対象業者(団体会員)に対し、県は18年度の新格付基準(技術事項等評価点数)で2点を加点。5月1日から一部改正される経営事項審査では、W評価換算で20点(総合評価換算で30点)の加点措置を行う。

九地整県内7事務所18年度事業計画

国土交通省九州地方整備局の県内7事務所は3月31日、18年度予算ならびに主要事業の概要を発表した。総額は540億3400万円で前年度比1.26%の増。このうち、鹿児島国道事務所では広域交流ネットワークの確立として、21年度の供用を目指し新武岡トンネル及び田上地区改良等を進めるほか、南九州西回り自動車道の整備を促進。川内川河川事務所は、川内市街部改修や久住地区水防対策特定河川を継続するほか、大隅河川国道事務所では下谷川改修や肝属川上流地区浄化などが新たに盛り込まれた。

(6面に県内7事務所の事業計画を掲載)

伸び率は、231億6200万円を予算化した大隅河川国道事務所が前年度比2・13%と大幅な増加となったが、鹿児島国道事務所が2億4300万円(前年度比0・19%)と事業完了等により大幅に減少。また、鹿児島国道事務所は198億8600万円(同1・03%)、鶴田ダム管理所は11億3900万円(同1・05%)、志布志港湾事務所は21億3000万円(同1・09%)の微増。川内川河川事務所は32億9300万円(同0・86%)、鹿児島港湾・空港事務所は42億8000万円(同0・91%)とそれぞれ減となった。予算配分では、治水(河川改修等)40億4300万円、ダム(堰堤維持等)11億3900万円、砂防(火山砂防等)29億4500万円、道路(地域連携推進等)278億2266号平川道路や同225号川辺改良(影原交差点)の用地買収等を促進する。

大隅河川国道事務所は、河川関係で新たに下谷川改修(護岸130m)、肝属川上流地区浄化(浄化施設検討設計一式)に着手。砂防関係で長谷川砂防(配置計画検討、詳細設計等)を事業化。また、野尻川土砂搬出や持

新武岡トンネル等整備促進

3月末で95%契約

県農政部は、3月末現在の工事執行状況(一般繰越、16年度国債、前金付国債)をまとめた。それに伴って、県営1606工区、357億4336万4000円(契約率94%)、団体営968工区、39億3689万4000円(同100%)の計2574工区、396億8025万8000円(同95%)を契約した。

県農政部工事執行状況

また、出来高は県営316億5675万5000円(出来高率84%)、団体営33億8043万4000円(同86%)の計350億3718万9000円(同84%)となった。

DIAMOND DRILL
穿孔(径14.5mm~800mm)

ROAD CUTTER
舗装切断・目地切り(~800mm)

CHEMICAL ANCHOR
接着系樹脂アンカー

WIRE SAWING
橋梁・ビル・ダム・煙突切断

BURSTER
擁壁・建物基礎の破碎

DRY GROOVING
スリップ防止・牛舎すべり防止

最大破碎力1000t
ピストン挿入 加圧・割裂
静的油圧破碎機
※水中施工可能

WALL SAWING
壁切(開口・耐震スリット用)

SILENT・SPEEDY・SAFETY
日本コンクリート切断穿孔協会九州理事・日本乾式グレーピング協会
ダイヤモンドワイヤーソー工法研究会・鹿児島県ワイヤーソー協会理事

株式会社 西部システム
霧島市国分府中町26-33 TEL 0995-46-9015
E-mail:seibu-s1@po.mct.ne.jp FAX 0995-46-9016

交通安全施設工事
[区画線(ライン)・標識設置
防護柵フェンス・カーブミラー]

コンクリート維持補修工事
[CO目粗し(ショットブラスト)
鉄筋探査(RCレーダー)
落橋防止・変位制限
支保・ジョイント補修]

道路維持補修工事
[小型切削機(W=10・20・30・50)
円形カッター(マンホール周り)
側溝内水平切断(嵩上げ・嵩下げ)]

かごしま
建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 大迫純隆
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099-227-5100番
FAX 099-225-1919番
振替口座 02020-5-2558
http://www.kc-news.co.jp

建設業務手続代行
(経営事項審査結果の分析)
森永茂樹事務所
TEL 256-16166
〒890-0001 鹿児島市真砂町10-13(近く)

900万円、空港(空港整備等)4億2000万円が充てられる。

鹿児島国道事務所は、南九州西回り自動車道のうち、川内道路(薩摩川内郡IC・串木野IC)を18年度内の供用を目指すほか、川内市街部改修(中郷地区)で旧堤掘削を引き続き実施。八間川・水辺の集約整備や川内川上流堤の河道掘削を予定。

鹿児島港湾・空港整備事務所は、マリンポートかごしまの関連事業で中央港防波堤伸延や連絡橋、臨港道路を進めるほか、鹿児島港谷山二区防波堤伸延を継続。名瀬港では立神地区防波堤伸延、佐々地区防波堤伸延の改良等、鹿児島空港では舗装の劣化が著しいことから、エプロン誘導路P3と誘導路P6の改良を行う。志布志港湾事務所は、志布志港の利便性・安全性向上、機能強化を目的に、若浜地区防波堤伸延と新若浜地区岸壁(14m)の早期供用を目指す。

鹿児島管轄事務所は、鹿児島農政事務所薩摩川内統計・情報センターの

東九州自動車道プロジェクト推進室
大隅支所内に開設

大隅河川国道